

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|--------------|------------------|--------|------------------|
| ○事業所名 | みんなのき | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 10月 24日 | | ～ | 令和7年 11月 7日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 0 ※自己評価実施期間の利用なし | (回答者数) | 0 ※自己評価実施期間の利用なし |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 10月 24日 | | ～ | 令和7年 11月 7日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) | 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 7年 12月 1日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 医療的ケア・安全体制の充実 | 看護師を常時配置しており、重症心身障害児や医療的ケアが必要な方の受け入れも可能な体制を整えている。 | 今後、多様な特性を持つお子様が利用される際も、個性を重視した安全な支援を提供できるよう、シミュレーションを継続する。 |
| 2 | 利用者が不在の時間を活用し、支援技術の向上、虐待防止、強度行動障害への理解など、内部研修を定例化して実施している。 | 利用者が不在の時間を活用し、支援技術の向上、虐待防止、強度行動障害への理解など、内部研修を定例化して実施している。 | 外部研修にも積極的に参加し、最新の知見を取り入れることで、職員間の支援スキルの平準化を図る。 |
| 3 | 構造化された生活空間を維持し、車椅子利用者や感覚過敏のあるお子様でも安心して過ごせる環境を整備している。 | 構造化された生活空間を維持し、車椅子利用者や感覚過敏のあるお子様でも安心して過ごせる環境を整備している。 | お子様の成長や特性の変化に合わせ、柔軟にレイアウトを変更できるよう、備品や教材のさらなる充実を図る。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 利用実績の不足による客観的評価が困難であること | 開所後の周知期間中であり、評価対象期間における継続的な利用者が1名(2回)に留まったため、多角的な評価が難しい。 | 地域の相談支援事業所や学校との連携を強化し、見学・体験を促進する。利用実績が積み重ねられ、速やかに保護者評価を実施する。 |
| 2 | 地域連携・交流機会の未確立 | 実績が少ないため、地域の他事業所や児童館等との具体的な交流実績がまだ作れていない。 | 地域自立支援協議会等へ積極的に参画し、地域資源の一端としての認知度を高め、連携の枠組みを構築する。 |
| 3 | 保護者ニーズの把握と家族支援 | 集計可能なサンプル数の保護者アンケートが実施できておらず、潜在的なニーズの把握が不十分である。 | 今後の新規契約時には丁寧なヒアリングを行い、保護者の悩みに寄り添った個別相談や情報提供を強化する。 |